



変化の春に・・・

2月に発行予定だったさんSUN通信でしたが、気が付けばもう3月・・・(;´∀´) 今年初めての発行になってしまい、申し訳ありません。私事なのですが、実は、2月の初めに引っ越しをし、その前後が想像以上のドタバタでした。今回は、そのドタバタ劇を通して、私自身が感じたことについて少し書かせていただきたいと思います。

昨年末、「もうそろそろ引っ越しの準備を始めないとなあ」と考えていた頃、長男が大流行の波にのってインフルエンザA型にかかり、自分自身も含め、長女や二女、夫にうつらないよう、マスクと消毒の生活。長男が苦しむ様子は本当にかわいそうでしたが、その時は長男だけの罹患で済み、家族でホッとしていました。年が明け、夫とともに引っ越しの計画を立て、週末ごとに準備を進めていこうとしていた矢先、また、長男がインフルエンザB型に罹患しました。しかも、今回は長女、二女、私も罹患してしまい、とにかく家の中はメチャクチャ。子どもたち全員が罹患している以上、自分の体調のことを言っている場合ではありませんでした。やっと全員が元気になった頃、もう引っ越しは目の前。このままでは間に合わないと焦りはありましたが、平日の昼間は1歳の二女がとにかくグズリ、何もできない状態でした。普段はあまりグズることはないのですが、今、振り返ると、この時期だけは片時も私と離れることができませんでした。私の焦りを感じ取っていたのかもしれませんが。さらに、身内の不幸もあり、いつどのように準備をしたのだろうかと思うくらいバタバタと引っ越しの日を迎えました。当日も、朝から機嫌の悪い長女に「もうっ！」となりながら、どうにか荷物を新居に運び込みました。荷物を入れ込み、とりあえずホッとしたのも束の間、長女の様子が…。体温を測ると、40℃近い熱！「朝から機嫌が悪かったのは、体調のせいだったんだ」と、その時初めて気づき、長女に謝ることでした。引っ越しのことばかり考えて、ちゃんと子どもたちのことを見てあげられていなかったと後悔ばかりでした。そして、そこから、長男も二女も熱発と嘔吐が続き、しばらくの間は病院通いばかりでした。病院の先生もおっしゃっていましたが、全員が環境の変化によるストレスだったのだと思います。子どもは順応性があるからと、正直、あまり心配していませんでしたが、こんなことになるなんて本当に驚きでした。子どもにとって環境の変化というのは、大人の想像以上に大きな負担になるのだと分かりました。また、子どもにしっかりと目を向けることの大切さにも気付かされました。子どもたちは、親の心の変化を敏感に感じ取り、いろいろな形でシグナルを出すのだと思います。親が困るような行動をとったり、体調を崩したり…。親はどんなに忙しくても、そのシグナルの元になっているものは何なのだろうと考える余裕を持たないといけないのかもしれませんがね。子どもをもつての初めての引っ越しはトラブルだらけでしたが、子育てについて改めて考える良い機会になりました。そして、私が経験したことは世の中のお母さんたちにとって決して特別なことではなく、つくづく「お母さんたちってすごい！」と実感しました。来月4月は、1年で一番環境の変化のある月です。子どもたち、お母さんたちのストレスが少しでも軽減されるよう、子どもたちと向き合う時間を作ることができたらいいですね。

さて、私も4月から6年ぶりの仕事復帰で、大きな変化を迎えます。今回のことを教訓に、子どもたちと一緒に頑張りたいと思います。一年間、さんSUN通信のお手伝いをさせていただきましたが、仕事復帰に伴い、今回で担当を終了させていただきます。最後に、我が家のことを書いてしまってすみません。(;´ω´) 通信を読んでいただいたみなさん、助産院でお会いしたみなさん、ありがとうございました。4月以降も、癒しを求めて助産院に通わせていただこうと思っていますので、お会いした際にはよろしくお願ひします>(*^▽^*)

みなさんが、素敵な新年度を迎えられることをお祈りしています…☆

